

平成17年度 第3回麻生区区民会議（試行）摘録

1. 開催日時 平成18年3月23日（木）午後1時30分～3時18分
2. 開催場所 麻生区役所第1会議室
3. 出席者 [委員]
芦垣委員、雨宮委員、石田委員、小川委員、加宮委員、葛上委員、
柴田委員、鈴木委員、曾我委員、千野委員、中島委員、森委員
（欠席）落合委員、山下委員
[参与]
雨笠参与、伊藤参与、尾作参与、佐藤参与、花輪参与、
山崎参与
（欠席）菅原参与、相原参与、吉田参与
[事務局]
斉藤区長、磯野副区長、豆白総務企画課企画調整担当主幹、
畠山地域振興課長、三橋建設センター管理課長
新谷こども総合支援担当主幹

4. 次第

- (1) 開会あいさつ
- (2) 議事
 - 1 会議の公開について
 - 2 川崎市区民会議の制度について（総合企画局）
 - 3 麻生区区民会議の制度について
 - 4 審議課題の報告について
「魅力ある麻生川」について
「子育て支援」について
- (3) その他
- (4) 閉会

【配布資料一覧】

- 資料1 - 1 区民会議の設置に向けた諸規定の整備について
- 2 区民会議の組織及び運営に関する諸規定の構成イメージ
- 3 川崎市区民会議条例
- 4 区民会議を通じた参加と協働による区における課題解決
- 5 区行政改革の推進に向けた取組
- 資料2 - 1 区民会議諸規程体系図
- 2 麻生区区民会議の制度について～麻生区として定める事項～（麻生区区民会議要綱について（案））

- 3 麻生区区民会議団体推薦委員・区長推薦委員の考え方
 - 4 麻生区区民会議の制度について～麻生区として定める事項～（麻生区区民会議委員公募要項について（案））
 - 5 麻生区区民会議委員選考フロー図（案）
 - 6 麻生区区民会議の制度について～麻生区として定める事項～（麻生区区民会議の運営について（案））
 - 7 麻生区区民会議機能イメージ図（案）
- 資料 3 - 1 区の課題解決のための審議シート（魅力ある麻生川）
- 2 麻生区こども総合支援担当の主な取り組みと平成 18 年度の計画
- 参考資料 麻生区区民会議に寄せられた意見・提案

5 議事摘録

(1) 開会あいさつ

磯野副区長より開会あいさつ

(2) 議事

1 会議の公開について

「川崎市審議会等の会議公開に関する条例」第 3 条の規定に基づき公開

2 川崎市区民会議の制度について

(議長) それでは、議事の 2、川崎市区民会議の制度について総合企画局からご説明をいただきたいと思えます。

(事務局) 総合企画局政策部より資料に基づき説明（資料 1）

(議長) どうもありがとうございました。

ただいま総合企画局から川崎市の区民会議の制度についてご説明をいただいたわけですが、一つには、区民会議設置に向けた諸規定、二つには、区民会議の条例、三つには、区の行政改革への取り組み等についてご説明をいただいたわけでごさいます。ここで委員の皆様には何かご質問等がございましたら、お願いをしたいと思います。

〔発言する者なし〕

3 麻生区区民会議の制度について

(議長) それでは、次に議事の 3、麻生区区民会議の制度について事務局からご説明を願います。

(事務局) 麻生区役所総務企画課企画調整担当より資料に基づき説明（資料 2）

(議長) どうもありがとうございました。

麻生区としての区民会議の制度等についてきめ細かくご説明いただいたわけでごさいます。これらについて皆様方の方からさらにご意見を承りまし

て、よりよい麻生区の区民会議にしていきたいと思いますので、どうか忌憚のないご意見、ご質問等をお願いしたいと思います。何かご意見ございませんか。

(委員) それでは、発言させていただきます。区民会議というものが各区によって独自性を持って、特に運用、運営面は独自性を持つということで、今回事務局からご説明がありましたように、麻生区としての制度として案が示されたわけでございますけれども、私も興味を持って見ていた者にとって、今回の案というものは、もちろん100%ということは、物事あり得ないわけですが、おおむね結構な案ではないかと思っております。

具体的に言いますと、非常に区民に対して開けたものになったという、これは従来の既存の組織と比較するということは大変失礼な話かもしれませんが、これまでいろいろと言われていた点から考えると、非常に行政側として区民に開けたものと、まさに区民会議の性格にふさわしい、そういった取り組みをされているということが基本的に感じられたと申し上げたいと思います。個々につきましては、今もご説明ありましたように、とにかく初めての試みですから、実際にやってみないとわからないと思います。

かといって、100%完璧なものにしてからスタートするというのでは、世の中どんどん進化して、進歩していきますから、やはりあるところで切りをつけなければいけないということで、こういった制度でとにかくスタートをしてみる、そして、スタートしてやっていく中で、不都合な点が麻生区として出てくれば、麻生区の会議ですから、それは実態に合ったものに、要は区民が幸せになればいいわけですから、そういった方向になるような会議に変えていけばいいかなと、このように理解いたします。

その中で、二つ、三つ質問なのですが、前回の会議のときにも、推薦団体の決め方というのが非常に難しいのではないかなと。要するに分野を代表するといっても完璧にそんな代表するわけにもいかないだろうし、かえって推薦されて迷惑な団体も出てくるかもしれないと。それから、こういう会議ですからやはり今後課題の解決ということに力を出していかなければならない。そういった点では、本当に理解があって、意欲のある団体が推薦されないと浮いてしまうかなと。そういったところから団体の公募という案はどうでしょうかということをお前回申し上げましたし、またその後のいろいろとパブリックコメントなどを見ましても、そういった意見もあったように思います。

こうした中で、今回麻生区では、個人に関しては公募委員選考委員会、それも第三者を含めて、外部の方を含めて開く、そうした選考会を開いて決めるという透明性のあるやり方をしている。それから、委員になる方の資格要件を丸

投げするわけではなくて、それぞれこういう方をお願いしますということで、ある意味での一定要件を示すと、そういった点で非常に進歩、進化していると思いますが、団体の公募ということについては、これは事務局の方としては、今回は見送りですけれども、これは今後とも可能性はないものかどうか、その点についてご意見を伺えればと思っております。

それから、区民への開かれたものということで、課題の把握は提案箱など一つのアイデアとして行うということをおっしゃるけれども、こうしたものは具体的にはスケジュール的にどのような形でやるか。何かもう既に腹案がありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

それと、もう一つは、先ほどの運営を見直していかなければならないということの中で、結局はこの会議が機能しているのかどうかということをやっぱり検証しなければいけない。誰かが評価しなければいけない。それはそこで検証、評価で終わりではなくて、当然のことながら次へつなげていかなければならないというためにやるわけですけれども、その機能というものが今回の説明案では、区民会議そのものが担うということになっていきますけれども、これはいわゆる内部的、区民会議内部でというお考えでしょうか、何か具体的なアイデアがありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

(事務局) それでは、ただいまのご質問にお答えさせていただきたいと思います。

まず、団体の公募ということでは、パブリックコメント等でご意見をいただいております。それをどのように今回の制度に反映させていくかということで、事務局でもかなり煮詰めた議論をさせていただいたのですが、団体公募するときに、団体としての定義づけが非常に難しく、私たち事務局の中でまとめ切れませんでした。実は団体というと、2人だったら団体として認めるのかとか、10人いなければ団体として認めないのかとか、まず人数をどうやって絞っていくかという問題とか、あと団体ということだと、当然規約を持ってなければいけないのかとか、定期的に会合を持っていないといけないのかというようないろいろな議論がございまして、団体としての定義づけというのが難しく、今後区民会議の中で第2期、3期と動いていく中で、団体公募というお話がございましたら、そこで団体を皆さんで定義していただいて、団体公募するということは、今後可能性はあるかとは思いますが、今回は事務局内部でそこまでの最終的な詰めができなかったというか、行政が一方的にこういう団体の条件で申し込みなさいという条件づけを出したくなかったということも含めまして、団体については公募を見送らせていただきました。

次の課題の把握箱、課題の提案箱について何か腹案があるかということなの

ですが、実は今のところまだ具体的な案は事務局の方では考えておりません。今後可能になるだろうと思われるのは、区役所の窓口のどこかに置くとか、柿生連絡所とか、行政内部でのいろいろな出先機関がございますので、そういうところに提案箱を置くとか、郵送で受けたり、提案箱とは言いますけれども、箱をその場に置くというイメージだけではなく、ホームページに提案箱の様式を張りつけて、それを書いてメールで送ってもらうとか、そのような形も考えられます。これも次期の委員さんたちの中でよりよい方法を見つけていただければと思っております。

次に、区民会議の進行管理は、ただいま示させていただきました最後のイメージ図でいきますと、区民会議が進行管理をするということですが、内部、自己評価ではないかということになるかと思うのですが、今のところ事務局として内部、内部といいまして、行政内部での自己評価ということではなく、区民会議委員の皆様、区民の皆様が目で監視していただく。または区民会議は会議公開の開かれた会議でございますので、傍聴者の方たちからも進行管理についてのご意見をいただくというような場面も考えられますので、今のところ事務局としましては、外部といいますか、第三者というイメージでは考えておりません。これは今後の運営の中で皆様からご意見をいただいて、新たな評価システムとか指標をつくるとか、いろいろな形が考えられますけれども、検討させていただければと思います。

(議長)他にございませんか。

[発言する者なし]

4 審議課題の報告について

(議長)それでは、次に議事の4番、審議課題の報告についてを議題といたしたいと思います。これは の「魅力ある麻生川」について、 の「子育て支援」について、これを一括して事務局からご説明をいただきたいと思います。

(事務局)・建設センター管理課より資料に基づき説明。(資料3-1)

・こども総合支援担当より資料に基づき説明。(資料3-2)

(議長)どうもありがとうございました。

ただいま魅力ある麻生川と子育てについてのご報告を申し上げましたが、委員の皆様、何かこれについてご質問等ございますか。

(委員)第2回目の会議のときにも感じたのですけれども、今の子育てのことについても、これは区民会議に報告ということであって、この中で審議したということではないと思います。既に子育ての関係者が集まって、いろいろやったださっているということですね。この区民会議では報告事項も入れるのでしょうか。

それともう一つ、麻生川の方もいろんな課題を出していく中で審議し、区民も何か一つかかわってやっていこうということで、各支援団体、個人が入ってくるわけですね。今日お聞きしているときは、これは全部区がやってくださっているところで解決できてしまっているわけですね。麻生川のように周りをコンクリートで固めてしまったら草取りの必要もないみたいですから、今回は区がやらなければならないことばかりなのでよいのですけれども、もう少しみんなが力を出して解決していこう、麻生区全体のものにしていこうというような会議ではないような感じがしますが、この区民会議の位置づけはどうなのでしょう。何かこれは区民会議の議題なのという感じするのですけれども、どうなのでしょう。

(事務局) それでは、事務局から答えさせていただきます。

今回、区民会議では第1回のときに「魅力ある麻生川」、第2回のときに「子育て支援」ということで課題を行政側から提案をさせていただいてご審議していただきました。これは第1回の麻生川、実は今回試行ということもありまして、大体協議して予算化して解決はこのようになるというイメージのシミュレーションといいますか、そのようなものを含めまして、課題の提案をさせていただいたのですが、その点で事務局から委員の方への説明が足らなかった部分があるかとは思いますが。麻生川の方につきましては、昨年「せせらぎカルテ」というものを麻生川に隣接しています麻生小、柿生小、片平小の子どもたちからいただいた経緯がありましたので、麻生区として実は区民会議の審議とは別の、先ほどの話の中であったと思いますけれども、区の課題として区が市長へ予算要求するというレビューの流れの中に、麻生川を取り込んでいくということで、区の方で決定をしております、その流れを皆様方に市の予算要求の仕方ですとか、査定ですとか、時期的な部分を含めまして、シミュレーション的にご提案をさせていただき、解決を図るとこのを見ていただくイメージでご提案させていただきました。

ですから、区民会議の議題には即さないという部分もあるかとは思いますが、本来ですと、皆さんでどうしたらよい、こうしたらよいと、花壇だったら関連町会は6町会ぐらい麻生川に隣接している町会があると思うのですが、その町会の方々に自分たちのエリアといいますか、町会の部分について花壇化するですとか、川を自分たちの、川の親をつくるというのは、建設局の事業であると思うのですけれども、川を自分の子どもとして、ここの部分は私のエリアというようなことできれいに維持管理するというような取り組みも一部行われている川もあるそうですので、そのような取り組みを本来でしたら区民と行政とで協働するなど、区民の皆さんで課題解決方法を話し合っていて、

地域の実践に取り組んでいただくというのが本来の姿かと思います。

そのような意味で子育て支援につきましても同じようなイメージで2回目に提案させていただきました。そこで実際に現在子育てに取り組んでいる方たちに2回目の試行の区民会議に来てもらいまして、実際の取り組み、行政の取り組みも含めてご紹介させていただきましたが、今後の区民会議の中でどのように実際に現場で取り組んでいる方たちのご発言というのですか、ご提案を含めて区民会議の中で話し合ってもらおうという、プレゼンテーションのイメージという形での紹介になりました。

若干誤解を招いたということについては、反省させていただいております。来年度以降は委員の発言にもありましたように、それぞれ皆様に課題提案していただいて、どういう解決方法があるかということや区民会議の委員の皆様、または専門部会を含めた関係者を含めて、専門部会の中で課題解決策、または課題解決を実行する実行方法等も踏まえて、ご検討いただければと考えております。

(委員) 私は麻生川の周辺に住んでいますが、雑草だとかが整備により大分きれいになったと思います。私もよく周辺を歩いておりますけれども、ごみも少なくなり、捨てる人も少なくなって、非常に環境的にはよくなってきているという感じを受けています。いろいろと水辺の整備も計画されているようでございますけれども、子どもたち、またお年寄り、我々もそうなのですが、ゆっくり散歩し、あの景観を楽しむということの中で、やはりトイレが、仮設のトイレはお花見の時期にはできると思うのですが、あのようなトイレは子どもたちは汚いとか、いろいろ使われる方が嫌がるということもございますから、できればあれだけすばらしく市民から愛されているところがございますから、トイレも立派なものというか、ある程度普通のトイレをつくってサービスをする必要があるのかと思うのですが、その点はいかがでしょう。

(事務局) トイレの設置ということで、先ほど委員からもございましたけれども、行政の方で今回整備をさせていただいた、胸を張ってこれだけきれいになりましたということではなくて、行政、区としてできることを少し環境整備させていただいたということがございます。階段ができません、すみませんがトイレの方は後になってしまいます。また、階段をつくっただけでは何もならないということで、階段を皆さんでいろんな形で使いたいですが、こういう形で夢を膨らませてもう少し整備をするとかというような形のご提案がありました。シミュレーションとしての一つのパターンでもございましたけれども、今後1カ所、こちらの方もお諮りしなくて、たまたま私どもの

方で地域の方、近くのところにはいらっしゃって、お声をかけて、ご本人もやってくださるということで、そのバックアップも自治会の方でやっていただくということで、本当に少し間のエリアなのですが、今回地域の人にやっていただくということになりました。麻生川もこれからは皆さんが集いまして、いろんな活動がなされていき、もっとすばらしい川になると思っていますので、行政側としましても今後基本的なできることから整備はさせていただきたいと思っております。さらに言えば、これを大きく展開していただくのは区民の皆様ではないかと思っていますので、今回の例えば18年度の取り組みで終わってしまって、もう課題がないというわけではございません。

それから、私ども何回も関係局と麻生川の方を回らせていただいて、先ほども桜の芽もだんだん膨らんできましたということで、かなり高齢者の方々がすとか歩いている方もいらっしゃいまして、トイレの問題、なかなかあのあたりにはなくて、個人のお宅に借りるというわけにもいきませんので、ぜひそういうスペースがあって、可能かどうかにつきましては検討させていただきたいと思っています。

(委員)私も麻生川の水辺は関心が非常に高いのですが、実は私は個人的にホトケドジョウだとか蛍だとか、カワニナやなんか飼っております、自然に交配ができるように飼っていますから、古沢の川にはもう蛍はいませんが、ホトケドジョウだとかがうようよいるとは言いませんけれども、かなりの量があります。当然麻生川の方にもそのホトケドジョウが水もきれいになっていますから、下の方にもかなりいるのではないかなという感じをしております。一番心配しているのは、子どもたちが遊ぶのはいいのですが、急に水が出たりなんかしますよね。そういうときの対策を十分考えた中で、水辺におりられたが、危険がないようにぜひ指導をしていただきたいと思います。

(議長)麻生川につきましては、いろいろ関係方面のご努力をいただきまして、大変きれいになってきました。今年は観光協会が中心になってさくら祭りを行うということで、4月1日に大々的に何か行事をやりたいという話も聞いていますので、委員の皆様方もお暇がありましたらご参加いただければと思います。

(委員)ただいまの麻生川のことについてでございますが、私は「せせらぎカルテ」の編集をするときのお手伝いをさせていただいた一人でございますけれども、あれは子どもたちの夢と希望があって、すばらしい本ができております。これは学校を通して教材として子どもたちには渡っているはずでございますが、大人には目に触れていないと思います。何かの機会に大人たちにも見てい

ただければ、今の子どもたちとそれから現在の大人たちが昔の望郷、それと非常にミックスするのではないかと思いますので、ぜひ子どもたちの目だけでなく、大人にも触れるような機会にこの本がなってくればよいと思います。

(議長)ありがとうございます。他にございますか。

(委員)麻生川の問題ですけれども、お三方から発言があったのですけれども、それを聞いてまして、4月から7月ですか、発足される区民会議というのがどういう形なのかということイメージしていたのですけれども、確かに委員が言われたように、既にもう課題がはっきりして、行政が予算もつけて解決をします。その解決というのは、本当に区民のニーズに見合った課題であったのか、解決だったのかはここではちょっと申し上げませんが、そういう審議というのがまだ区民会議の場ではなかったわけです。区民会議そのものがなかったわけですから、子育ての件についてもどうも印象的には、やはり区民から行政に何とかしてくれと。そうすると、行政の方が、予算をつけましたと、このようにいたしましたという一つのスタイルがこれは長年の間、そのように定着してきたわけです。

ただ、今度の区民会議というのは、おそらく例えばこういうところで話し合うのも、私が発言すると何となく事務局のどなたかに対して質問しているみたいで、早速また事務局の方からお答えをいただくと。ありがたい話なのだけれども、これはどうも違うのかなという、もっと委員の間で逆にいうと、事務局の方はしばらく黙っていてというような、要するに4月からどうなるかということイメージして想像しているのですけれども、こういう形になってしまうと、やはり行ったり来たりになってしまうのかなと。それだとどうも違うなということが一つ、それは会議の運営ということですから、今後やっていく中で出てくるのでしょうかけれども、そういうことが一つあります。

それから、解決の中にやはり麻生川の場合でしたら、周辺地域の住民の方がどのようにかかわっているか、またどのように本当は期待しているのかといったことが当然吸収されなければいけないなど。そうすると、多分例えばこの今ここにおる十数人の委員以外にやはり当事者がいないと話が進まないのではないかと思います。要するに机上の空論をやってしまう可能性があるなという気がします。そうすると、先ほどから話があった専門部会ですか、こういったもので麻生川の例えば美化ということをテーマにした、専門部会が開かれ、そこに周辺の地域住民の方も入っていただき、それから水に詳しい方、そういった方が入って、そこで議論しながらやっていくのかなということを感じた次第です。

そこで、議長から4月1日のお祭りの話がありましたけれども、これはお祭

りというのは今までもやっていたのですね。それで、私もたまに見に行ったことがあるので、これまた当事者でないので余り言えないのですけれども、多分おっしゃったようにトイレの問題とか、それからごみの問題、この期間は収集すると思うのですが、そういったトラブルを多分地域の方は抱えているのだろうなど。そうすると、それを何とかしようやということで、トイレをつくってくれと言ってもこれは数千万ぐらいかかるのですかね、そう簡単にはいかないかもしれないけれども、例えば仮設トイレというものを緊急予算をとって何本か置くとか、そういうことだったら小回りがきくような話になるとか。

それから、ごみはもちろん捨てなければいいのですけれども、持ち帰るとか、そのような指導を例えば地域の住民の人たちがその期間、ご苦労さんですけれども、ちょっとそこに立ち会って指導をするとか、場合によってはごみ箱を置く必要もあるのかもしれないし、やっぱり持ち帰るということを徹底させるのか、そういうのはわかりませんが、要するにそのようなことを新しい区民会議では、場合によっては専門部会というところで話し合っ、それを早速に実行するということなのかなと思った次第なのです。例えば具体的に今年の4月1日のさくら祭りでのトラブルということに関しては、例えば今日ここでこういう問題が起きて、こういう解決法を考えて、もうあと数日しかないけれども、何とか手を打つかとか、そういうことはできるのでしょうか。ちょっと問題提起させていただきました。

(議 長)実は私どもも関係しているものですから、私が答えるというのはおかしいのですけれども、お答えを申し上げますと、トイレはこのお祭りの期間中は仮設トイレをいくつかセットして、それからごみの問題については、それぞれ団体の、それと商店街等も協力しながら、ごみも全部処理しているということで、お祭り期間中はいいのですけれども、そのお祭りの外れた期間の問題が委員の方からも、お話があったのだと思います。トイレの問題については、確かにこれから恒久的に何か考えてもらわないといけない。それから、あとはごみの問題については、ごみの箱を置きますとこれまた困るのですね。そこへ集中して捨てられますから、そういう問題についてもお祭り期間中、できるだけボランティア活動あるいは町会の活動等を通じて、できるだけ対応していくことで近隣の町会等が努力をされているのではないかと思います。

他に何かございますか。

〔発言する者なし〕

(3) その他

(議 長)それでは最後になりますが、大変お忙しい中を参与の先生方がお見えになっていきますので、全体的に何かありましたらお願いいたします。

(参 与) 本日はご苦労さまです。

ただいまお話があったように、本当に区民会議というのはやってみないとわからないところも一杯出てくると思います。やはりこの場で議論するというように私は思っています。私は参与という場ですから、やはり委員の方がこの区民会議で地域の課題を解決していく場として議論する場ということが、今後本当に必要になってくるのだなというように思います。今委員の方が言われましてけれども、やはり行政とのやりとりになってしまうと、要望の場所になってしまったらまずいのではないかと思いました。

ですから、今日は試行の段階では一番最後の会議になります。本当に各区ごとにそれぞれの特色が出てくると思うのですけれども、ぜひ麻生の区民会議が議論をする場、そして特に今言われたように地域の当事者の方たちと一緒に地域の課題を解決していく、この場だけではなくて、そのいろんな麻生区にも本当に地域がたくさんあります。小学校区か中学校区かというのはありますけれども、その地域の方たちと一緒に解決していかないと、本当に地域のニーズに合ったものにはなっていないのではないかと思いますので、ぜひ来年度の活動に期待したいと思います。

私たち参与としても、どのようにかかわればいいのかということは、今回の議会でもいろいろな議論があったところですが、ぜひアドバイスという立場のところで、皆さんの議論が活発になれるようにフォローしていけたらと思って、今日は聞いていました。

(議 長) どうもありがとうございました。他に何かございますか。

(委 員) 私は、区民会議はすごくいい会議ができたと思っていますし、3回しかなくてどうなることやらと思っていましたけれども、私なりにこの会議の組織の中、提案もしていたのですけれども、本当に行政の方、すごく苦労なさったなと思うようなことがありありと出ているような案にまとまっていたので、よい会議ができるのだなと思っております。やってみないと実際はわからないと思いますけれども、ただ私はこの会議は会議をもう一つ増やしたということにしたくはない。この会議の中で本当に麻生区のいろいろな団体とか個人の方が出てくださって、本当に麻生区の課題を解決していくことが必要だと思っていますので、会議をもう一つ増やしたという場にはしたくないと思っています。

(議 長) 貴重なご意見を、どうもありがとうございました。

いろいろ問題はありますが、今は試行の段階でございますので、これから次には本番に入って行くわけでございますので、どうか皆さん方もより活発なご意見を出していただきまして、委員同士で十分に議論をしていただくとい

うのも一つの大きな前進になるのではないかと思うわけでございます。

今日は、試行の最後の区民会議であるわけでございますが、ご案内のとおり、麻生区は発展途上にありまして、いろいろな問題を抱えているわけでございます。芸術・文化のまち、そしてまた一方、マイコンシティをはじめ先端産業のまちということで、芸術と科学の将来を見据えたまちづくりについて私は日頃感じているわけでございますが、これからまだまだ麻生区は市内では最後まで人口が伸びる区だということであるわけでございますので、皆さん方の積極的なご意見をいただきまして、さらに今後のまちづくりのために貢献ができれば非常にありがたいと思っているわけでございます。今日の予定の議事は全部済みましたが、芦垣副議長に一言ご挨拶をお願いいたします。

(副議長)最後になりますが、子育て支援の方でご意見があったようですけれども、子育てでも小さい方の幼児と今一番問題のあります小学校区、中学校区、高等学校の方も入りますけれども、そういうご意見のお話が何も出ておりませんが、今回は事務局からご説明もありましたように、今後を期待いたしまして、いろんな方々が出てきて、地域で子どもを育てていってほしいというのは念願でございます。さらに、取り組みにもいろんな委員さんが出てきてくださって、たくさんのご意見をいただいて、その中でいい方向づけができれば一番うれしいと思いますと同時に、できれば皆さんが周りの方にもお話しになって、どのようにお考えになっているのか、十人十色ということがございまして、大変それぞれ勝手な人間が大勢おりますので、そうではなくて、自分もこういうところへ参加しながら、自分も責任を取っていかなければいけないのだと、世の中に関してですね。そういう意味でこれからの会議を期待しております。委員の方はどういう方がお出になってくるかわかりませんが、よりよい区民会議ができることを期待いたしまして、長い間本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

(議長)皆様方のご協力をいただきまして、無事に会を進めることができました。ここで司会を事務局の方にバトンタッチをしたいと思います。本当に今日はありがとうございました。

4 閉 会

(事務局)中島議長、ありがとうございました。それでは、区長から閉会のあいさつを申し上げます。

(区 長) 斉藤麻生区長より閉会あいさつ